

I. (日本繊維技術士センターの行事予定)

(一社) 日本繊維技術士センターのホームページは、「繊維JTCC」で検索できます。

< JTCC開催講座のご案内 >

(対面講座のコロナ対策: 募集人員の制限、体温が37.5℃以上の方は受講不可、マスク着用、手の消毒を実施)

◆ 「**知っておきたいアパレル製品の基礎知識**」Part II 開催のご案内

(オンライン方式で開催(Microsoft Teams を使用します))

PART II

1. 日程と時間

LIVE: 2023年2月25日(土)、3月4日(土) 時間: 10時~17時

録画: 2023年3月7日(火)、3月14日(火) 時間: 10時~17時

2. 会場

オンライン方式で開催(Microsoft Teams を使用)

3. 講座スケジュール (講義の間に休憩時間があります)

日程	テーマ	時刻	時間(分)
1日目 LIVE 2月25日(土)	挨拶	10:00~10:10	10
	I. アパレル製品の企画・設計	10:10~11:00	50
	II. アパレル製品の縫製準備	11:00~12:30	90
	休憩	12:30~13:30	60
	III. アパレル製品の縫製・仕上げ加工・設備	13:30~16:00	150
録画 3月7日(火)	IV. アパレル製品の無縫製技術	16:00~17:00	60
	V. アパレル製品の検査	10:00~11:00	60
2日目 LIVE 3月4日(土)	VI. アパレル産業の小売り、流通マラ見た SDGs	11:00~12:00	60
	休憩	12:00~13:00	60
	VII. アパレル製品の表示と法令	13:00~15:00	120
録画 3月14日(火)	VIII. アパレル製品の生産トラブルとその対応	15:00~17:00	—
	VIII-1 苦情事例<地糸切れ>	15:00~15:30	30
	VIII-2 苦情事例<シームパッカリング >	15:30~16:00	30
	VIII-3 苦情事例<滑脱>	16:00~16:30	30
	VIII-4 苦情事例<安全性>	16:30~17:00	30

3. 受講料と定員... ¥20,000 50名

4. 申込み方法... JTCC ホームページ:<https://jtcc.or.jp/>から、または添付資料の申込み書に記入し JTCC 本部宛 FAX
或は、E-mail でお申し込み下さい。FAX: 06-6484-6575
E-mail: jtcc-ed-os@mbr.nifty.com <申し込み期限: 2023年2月17日(金)>

◆JTCC「公開講演会」

(詳細、参加申し込みはJTCCホームページをご覧ください。)

名称	内容(講師)	日時	会場
第90回 (繊維技術) JTCC 主催	講演1.「縫製工場におけるスマートファクトリー -リアルタイムでの生産ラインの見える化-」 JUKI販売(株) 修理翔太氏	12月10日 (土)	オンライン
	講演2.「透湿防水について」 JTCC会員 (元東レコーテックス(株)) 上本雅則氏		

公開講演会の参加費(税込み): 2000円 オンラインの場合「資料のみ」の参加は不可です。

企業紹介

株式会社日阪製作所



ZERO Rapid サーキュラー

余分な水を使わない、環境配慮型の新型Circular!
高機能オプションと併せて、染色工場のさらなる省エネ、生産性向上に貢献します!

Model ZR型

省エネ

- 染色槽、小型熱交換器をはじめ、新構造採用により浴比低減を実現
例)ポリエステル織物・ニットの浴比1.4~6

生産性向上

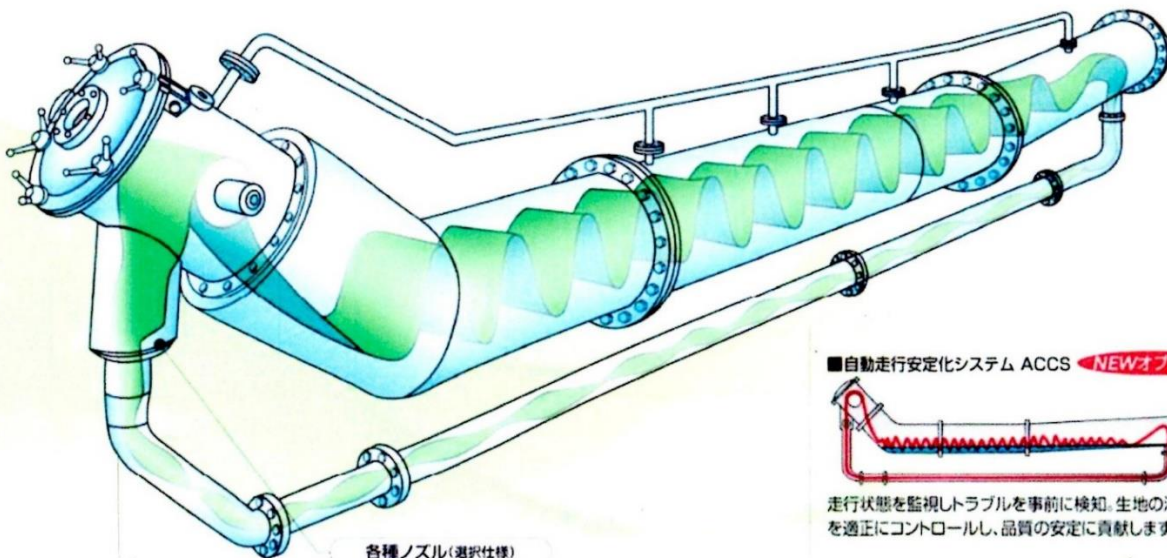
- 走行安定の実現と大口径の採用により、2本通しでの加工時間短縮が可能

事故率低減・再現性向上

- 前後部の特殊内槽により、後部詰まりの解消と滞留バランスの均一化を実現
低温から高温までの安定走行を確保
- 後部特殊内槽の採用で、従来の低ノズル圧化によるメヨレ・スレ・アタリ・毛羽立ちなどの加工欠点を解消

簡単操作・省スペース設計

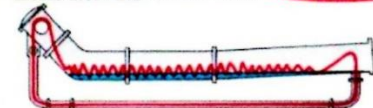
- 洗練されたシンプル構造により操作性が向上し、作業負担やロスを低減
- 各種高機能システムの設置スペースを確保



各種ノズル(選択仕様)

- スパン(S)ノズル (φ70-80-90-110-130)
適度な噴射角度と流量を兼ね備えた汎用ノズル
- SFノズル (φ70-80-90-110-120)
スパンノズルとフィラメントノズルの長所を兼ね備えたノズル
- フィラメント(F)ノズル (φ50-70-80-90-100-110)
強い噴射力があり、モミ効果が得られるノズル
- 平行(P)ノズル (φ50-70-80-90-110)
噴射角度を平行にし、流量で生地を移送を行うため、ソフト加工に適するノズル

■自動走行安定化システム ACCS **NEWオプション**



走行状態を監視しトラブルを事前に検知、生地の滞留を適正にコントロールし、品質の安定に貢献します。

■粉体急速溶解装置 RD **NEWオプション**

粉体をより「早く」、より「均一」に溶解します。

II. (業界ニュース)

1. 経済産業省(生活製品課)

「次代を担う繊維産業企業 100 選」の募集を開始します！ (先月号と同じ記事)

「次代を担う繊維産業企業 100 選」の概要

繊維産業において、優れた技術を持った企業や、優れた取組をしている企業を広く周知することで、社会的認知度の向上と、優れた取組の業界への横展開を図るとともに、選定事業者のビジネスチャンス拡大を目指すことを目的として、「次代を担う繊維産業企業 100 選」を選定します。2022 年度の募集を 10 月 17 日～11 月 30 日まで実施しています。

選定企業について

繊維ビジョン」で掲げる、5 つの分野に関する、優れた技術力を持つ企業や、優れた取組をしている繊維産業企業を「次代を担う繊維産業企業 100 選」として公表します。中堅・中小企業を対象とし、いずれかまたは複数分野への応募が可能です。

- ① サステナビリティ
- ② デジタル化
- ③ 技術力やデザイン力による付加価値の創出(古い織機で高度な技術の付加価値など)
- ④ 新規性のある事業・サービスの展開
- ⑤ 海外展開

募集等スケジュール

2022 年 10 月 17 日(月曜日) 応募開始

2022 年 11 月 30 日(水曜日) 応募締め切り(13 時 必着)

2022 年度中 結果公表

2. 環境省

・新着情報なし

3. 日本化学繊維協会、日本綿業振興会、日本染色協会

●日本化学繊維協会 (詳細は化繊協会のホームページ参照してください)

・新情報なし

●日本綿業振興会 (詳細はホームページ参照)

・新情報なし

●日本染色協会 (詳細はホームページ参照)

・新情報なし

4. (一社)日本衣料管理協会、(一社)繊維評価技術協議会(織技協)

●(一社)日本衣料管理協会

2022 年度繊維製品品質管理士[TES]試験の試験問題・解答をアップいたしました。

[→合否判定基準・試験問題・解答](#)

詳細は、日本衣料管理協会のホームページをご覧ください。

●(一社)繊維評価技術協議会(織技協)

・新着情報なし

●関西ファッション連合

・新着情報なし

企業紹介

日本ダム株式会社



オンリーワンの技術で世界に挑む
ブランドラベルの総合メーカー



日本ダム株式会社

日本ダムは、織ネームやプリントネームなどブランドラベルの総合メーカー。世界の一流ブランドやスポーツ選手が着るユニフォーム、大手企業の制服などに日本ダムでつくられたブランドラベルが採用されています。製品は小さいけれど、ブランドを輝かせる大きな存在。私たちはオンリーワン技術を福井から世界へ発信し続けます。



LABEL IS SILENT SALESMAN
ND 日本ダム株式会社
NIPPON DOM CO.,LTD.

[本社・工場]
〒910-3607 福井県福井市清水杉谷町45-163
TEL(0776)98-2000 FAX(0776)98-4133
<https://www.nippondom.co.jp>

Ⅲ. (技術情報)

詳細な内容は各学会誌、月刊誌をご覧ください。

◆<繊維学会誌> 2022年11月号



時評

○染色整理業はキーインダストリーです

岐セン(株) 後藤勝則

特集<技術賞より>

○ウレタン微多孔透湿防水膜「ルストレ®FGX」シリーズの特徴と今後の取り組み

テックワン(株) 浅野 明、北野高広、竹田忠彦

1. はじめに:「ルストレ®FGX」シリーズは優れた透湿防水機能性フィルムである。
2. ウレタン樹脂を主成分とした多孔質からなるフィルムで、水に溶解しないウレタン樹脂を析出して、凝固させ多孔質状に変化させる手法で生産する。従来のウレタンフィルムと比較して微細な構造になる。
3. 環境配慮技術を導入した FGX シリーズの紹介
4. まとめと今後の展開

○高バランス素材「デルタ®シリーズ」の開発とグローバル展開に向けた取り組み

帝人フロンティア(株) 尾形暢亮、藤原彰大

1. はじめに:「デルタ®」は、質感、物性、機能に優れたニット製品である。
2. 理想編地構造の実現:抗スナッキング性に優れた編地を、特殊仮撚り糸を使用して製造した。生地は斜行も減少させた。
3. デルタ®シリーズの特徴と商品展開:ソフトな風合い、軽量嵩高性がある、ストレッチ性に優れる。

○親水持続性ポリエステルスパンボンド不織布の創出

東レ(株) 勝田大士、梶原健太郎、森岡英樹

1. はじめに:不織布の特性
2. 親水持続性スパンボンドの課題とコンセプト
親水性を後加工すると水分と共に加工剤が流出する。熱可塑性ポリマーを親水化した。
3. ポリマー設計
ポリエステルの共重合成分に親水成分を採用した。
4. 親水持続性スパンボンドの性能評価
親水持続性スパンボンド不織布では、水滴が付着した瞬間に水滴が繊維に吸着拡散する。
5. おわりに
親水持続性、柔らかさ、強度、肌に対する低刺激性がある。おむつ、マスク、防護服に使用する。

<解説>

<業界マイスターに学ぶ せんい産業資材の基礎知識—23>

○第4編 産業用途への応用 (6)航空・宇宙用途

(一社)日本繊維技術士センター 井塚淑夫

4. 6. 1 はじめに

航空・宇宙分野では、多くの繊維強化プラスチックが使用されている。

4. 6. 2 繊維強化プラスチック(FRP)の航空機への応用

炭素繊維強化プラスチックが、軽い、強い、優れた対疲労性を生かして多くの使用部位で活用されている。

4. 6. 3. 宇宙分野での応用

人工衛星本体、アンテナ、太陽電池パネル、宇宙観測用望遠鏡に使用されている。

宇宙服は3軸織物で使用されている。

○第4編 産業用途への応用 (7)農業・水産・海洋用途 ①農業資材

(一社)日本繊維技術士センター 福岡 強

4. 7. 1. 1 農業用繊維資材とは

農業に関係するところで使用される不織布で多岐にわたる。

具体的な例:(1)ハウス被服資材、(2)農ポリ、マルチ、果樹マルチ、(3)遮光、遮熱、害虫、害獣、ドリフト抑止材、防雹、防砂ネット、(4)べた掛け、防草、作業シートなどがある。

4. 7. 1. 2 繊維だからこそその農業資材

4. 7. 1. 3 空中栽培

- 4.7.1.4 不織布を利用した直播栽培
- 4.7.1.5 不織布による飛散防止と発芽促進
- 4.7.1.6 その他繊維資材
- 4.7.1.7 生ゴミ処理ガーベージング

○第4編 産業用途への応用 (7)農業・水産・海洋用途 ②水産海洋資材

(一社)日本繊維技術士センター 伊勢智一

4.7.2.1 水産資材

- (1)漁網 (2)ロープ

4.7.2.2 海洋資材

- (1)概要:繊維はポリエステルが多い (2)オイルフェンス (3)ゴム引布製起伏堰
- (4)海洋土木資材

<繊維関連の美術館・博物館>

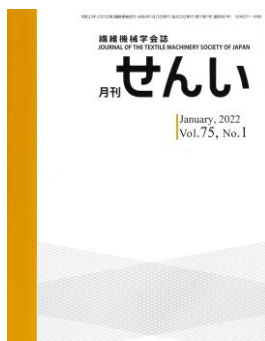
シルク博物館 ~生糸の集積地・横浜に建つ絹の総合博物館~ 横浜市中区山下町1番地
シルク博物館 佐野遊海

◆<繊維製品消費科学会誌> 2022年10月号 _____



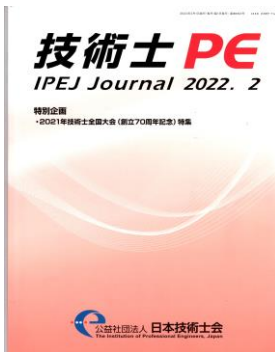
- 毛芯地と共に 東海サーモ(株) 浅野圭一
- パフォーマンス向上をサポートするアルペンダウンヒルスーツの開発
デサントジャパン(株) 戸床文彦
- 衣料品使用実態調査 (一社)日本衣料管理協会 大橋正男
- 宇宙靴下™の開発事例をもとに宇宙×地上ビジネスを考える
(株)ワコール 松井孝明
- ロボテックスの提供価値と今後の期待
パナソニックホールディングス(株) 安藤 健
- 暑熱対策化学防護服の商品開発
東レ(株) 林 祐一郎、吉光佐織、武田寛貴、日和佐 大、加藤菜津子

◆<繊維機械学会誌> 「月刊せんい」 2022年10月号 _____



- 繊維製品製造工程におけるDXにおける留意点
—AIなどを用いた目視検査の自動化の経験より—
アキューティ(株) 佐藤眞平、長瀬泰典
- グルコースの酸化物を利用した羊毛の濃色染色
(地独法)大阪産業技術研究所 大江 猛、吉村由利香
- 1. 食品から採取したメラノイジン色素を用いた染色をすることで「安心」「安全」「健康」に
適応した染色ができる。
- 2. 繊維分野へのメラノイジン色素の利用と課題
- 3. グルコース酸化物を利用した羊毛の染色
- 2030年に向けた繊維産業の展望「繊維ビジョン」 経済産業省

◆<日本技術士会誌> 「技術士 PE」 2022 年 10 月号



- 特殊車両の走行を支援する通行制度の動向 東谷 上
- 企業の中で技術者倫理を生きる 安川雄樹
- 脱炭素社会と再生可能エネルギー 100%に向けたデンマークの取り組みにおける熱利用の役割 田中いずみ
- 男女共同参画学協会連絡会の幹事学会として科学技術系専門職女性の活躍推進に貢献 岩熊まき
- 日本と海外の未来への架け橋に 帝人(株) 高橋真一
 - 1. 私の経歴と技術士(繊維部門)の関わり
 - 2. 現業とその取り組み
 - 3. これから目指すこと
 - 4. 仕事を離れて

(月刊誌)

◆<加工技術> 2022 年 10 月号

新市場創造講座 -新市場を目指した繊維生産・流通システム

この連載は、2022年8月号から2023年9月号までの連載予定です。

- 繊維産業論・繊維産業の足跡(3) (一社)日本繊維技術士センター 永安直人
 - 9. 戦後復興と繊維産業
 - 10. 戦前・戦中の合成繊維
 - 11. 経済復興五ヶ年計画と合成繊維
 - 12. 合成繊維と特許
 - 13. 高度成長と綿紡績業
- スポーツウェアに求められる機能性・快適性 (一社)日本繊維技術士センター 清嶋展弘
 - 12. スポーツウェアと関係法令・規格・規約
 - 1. 消費者基本法 2. 家庭用品品質表示法 3. 繊維製品品質表示規定
 - 4. 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律
 - 5. 不当景品類及び不当表示防止法 6. JIS サイズ規格 7. 容器包装リサイクル法
 - 8. 有害物質規制に関する法律 9. 特定商取引に関する法律 10. スポーツ公正競争規約
- 炭素繊維コンポジットの最新技術動向 (下-3) (一社)日本繊維技術士センター 井塚淑夫
 - 8. CFRP の最近の用途展開
 - 5. 風力発電用途など
 - 6. 圧力容器用途 ①水素タンクの現状 ②水素タンクの開発
 - 7. 土木・建築用途
 - 8. 生活用品などその他の用途
- 時空繊維 織物のまち「京都」にあった染織祭 (一社)日本繊維技術士センター 八木健吉
- 食品のメイラード反応を利用した繊維の着色技術(3) (地独法) 大阪産業技術研究所 大江 猛
 - メイラード反応糖構造の関係—
 - 4. メイラード反応糖構造の関係
 - ①炭素鎖長の異なる還元糖 ②糖水酸基の立体配置 ③アルドースとケトース
 - ④グルコース誘導體 ⑤糖質の価格と着色効果の関係
- ヨウ素が掘り起こすポリマーの可能性 京都大学 川口昭夫
 - 4. ヨウ素とドーピングイオンの拡散
 - 5. ポリヨウ素イオン存在下でのイオンの移動と拡散
 - 6. 難溶性塩の「内部析出」とコンポジット化(その1)

【特集】関連機器・検査機器

注目の不織布関連機器・検査機器を紹介

◆<新聞、他>

織研新聞

○2022年1月～8月の衣料品の輸入（先月号と同じ記事）

（数量：百万点、金額：億円、シェア：%、下段：前年同期比）

順位	国	ニット衣料		布帛衣料		合計			
		数量	金額	数量	金額	数量	シェア	金額	シェア
1	中国	911	5,103	501	4,499	1,412	59.4	9,602	53.9
		▲3.4	18.7	4.1	20.3				
2	ベトナム	229	1,491	99	1,362	328	13.8	2,853	16.0
		1.3	25.8	9.9	31.4				
3	バングラデシュ	141	567	53	522	194	8.2	1,089	6.1
		9.4	31.5	6.5	35.5				
4	カンボジア	94	441	45	518	139	5.8	959	5.4
		11.2	34.0	1.5	36.4				
5	インドネシア	36	253	27	311	63	2.7	564	3.2
		▲15.9	1.1	▲8.1	25.7				
6	イタリア	1.0	217	1.0	307	2	0.1	524	2.9
		1.4	13.9	▲0.8	16.3				
7	ミャンマー	53	243	49	530	102	4.3	773	4.3
		37.4	77.4	38.5	59.2				
	全世界	1,561	9,041	816	8,773	2,377	100	17,814	100
		▲0.2	21.3	5.1	24.6				

出所：日本貿易統計

「FB プロフェッショナルへの道」 2022年10月28日

「日本市場の2021年の規模を知ろう」

- ・日本の衣料品消費市場の規模：8兆5331億円（前年比2.3%）
- ・供給量：36億4288万枚（前年比2%）、平均単価：2345円（前年比約2%）
- ・1所帯あたり消費者が服に使う金額：9,063円／月
- ・家計支出の総額に占める被服費及び履物への支出の比率：3%前半（従来は約4%）
- ・日本人が服を購入する枚数（2019年比）：0.8に減少

「JTCCニュース」では、毎月数社の企業紹介や製品の案内をさせていただきます。

掲載をご希望の方は、jtccnews@mbr.nifty.com に投稿してください。(掲載料金は無料です。)

賛助法人・団体会員様の声(技術的な問題, JTCCに対する声などをメールでお聞かせください)

連絡先:jtccnews@mbr.nifty.com

JTCCニュース用のメールアドレスは、jtccnews@mbr.nifty.com です。

編集:一般社団法人 日本繊維技術士センター 企業接点強化部会 金田哲郎

一般社団法人 日本繊維技術士センター(JTCC)

本部事務所 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目4番9号 輸出繊維会館6階

☎ 06-6484-6506 FAX 06-6484-6575 E-Mail jtcc@nifty.com

関東支部事務所 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-9(滋賀ビル506号室)

☎ 03-5643-5112 FAX 03-5614-0103 E-Mail jtcc-kt@nifty.com

東海支部事務所 〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35-18 一光大須ビル7階

(公財)中部科学技術センター内 ☎ 052-231-3043(代) FAX 052-204-1469